

保護者の皆様へ

～夏休み期間を無事故で過ごしましょう～

夏休み期間は子ども達が親の目を離れて友達と出かけたりするなどし、突発的な行動による交通事故と、道路への飛び出しによる事故が多発傾向にあります。

また突発的な行動でなくても、車が横断歩道歩行中の子どもを見落として接触する交通事故も発生する傾向にありますから、ぜひご家庭におきまして、お子様へのご指導をよろしくお願いします。

○ 横断歩道を渡る際は手をあげましょう。



手をあげる、
車の運転手に対しアイコンタクトをする、
などして渡る意思を明確に示しましょう。



大人が率先して手を
あげましょう！

○ 横断歩道を渡る際は左右の安全を確認しましょう。

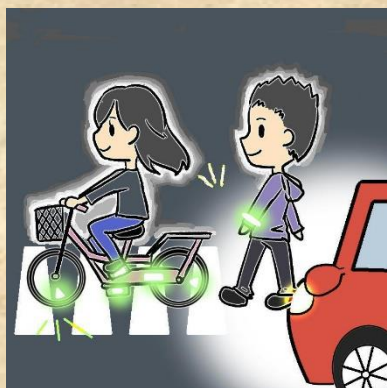


片方の車両が止まっても、
反対車線の車が止まらない場合があります。
左右の車が止まってから安全を確かめて横断しましょう。



せっかく自己アピールをしても車から見え
てなければ意味がありません！
左右の安全確認は十分にしてくださいね。

○ 普段から反射材を有効活用しましょう。



夏場は暑さの和らいだ薄暮時、散歩等で外出する機会があると思
います。

反射材のない暗い服は車から非常に見にくく、事故にあう可能性が
ありますから、普段から着用している靴や上着、リュックサック等
は明るい服装を心掛け、反射材を付けましょう。



暗い服装は車から見えません。
反射材を着用しましょう。